

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

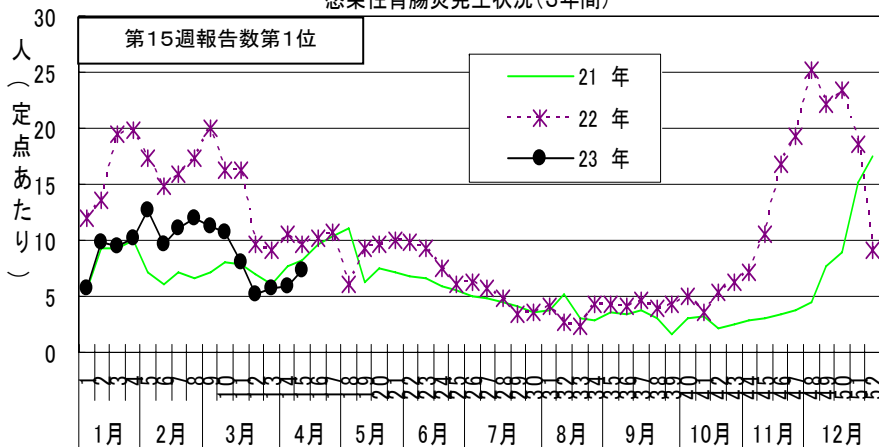
平成23年4月11日（月）～4月17日（日）〔平成23年第15週〕の感染症発生状況

第15週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

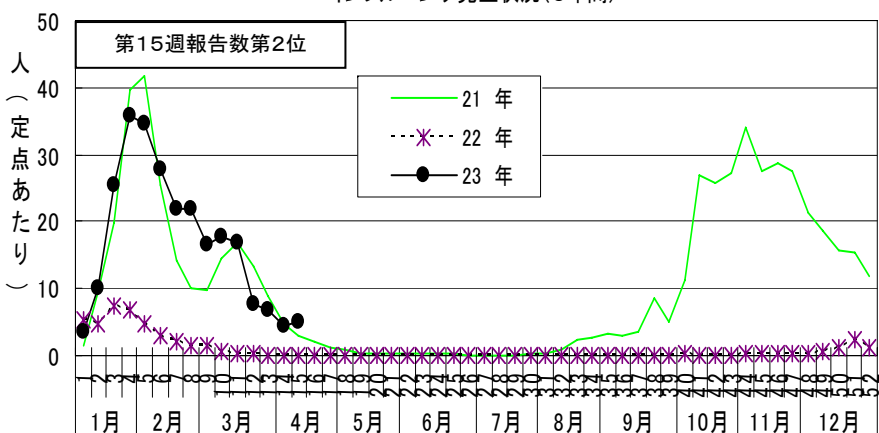
感染性胃腸炎は定点当たり7.25人と前週（5.82）より患者報告数は増加していますが、例年どおりの推移となっています。

インフルエンザは定点当たり5.08人と前週（4.43）より患者報告数が増加し、過去10年間の同時期と比較すると、最も多い報告数となっています。また、中原区の小学校1施設から学級閉鎖の報告がありましたので、感染予防に注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外旅行で気をつけたい感染症（食べ物編）～

もうしばらくするとゴールデンウィークです。この長期休暇を利用して海外旅行を計画している方に注意していただきたいポイント（「食べ物編」と「動物編」）を御紹介したいと思います。今週は「食べ物編」です。

海外旅行等で食べ物が原因となる感染症には、腸チフス、赤痢、コレラ、A型肝炎などがあります。下痢を起すものがほとんどですが、A型肝炎（倦怠感・黄疸）のように下痢が主症状でない感染症もあります。一般的な注意点をあげますので海外旅行の際には注意してください。

①なま水を飲まない

※水にも注意



海外で感染症にかからないために気をつけたいこと

⑤乳製品・卵製品は痛みやすいので、衛生状態の悪いものや調理後時間の経過したものは避けましょう。

③生野菜は避け、火を通したものを食べましょう。



④果物は皮をむいたらすぐに食べましょう。時間の経過したカットフルーツなどに注意！



②魚・肉類は火を通しましょう。



海外渡航者における予防接種の二つの側面

① 海外で感染症に感染することを予防するため

一つ目は、海外で発生又は流行している感染症に対し、自分自身が感染することを予防するとともに、家族や周囲の人達への感染を防止することです。

② 入国時等に予防接種済証明書を要求する国があるため

二つ目は、入国時等に予防接種済証明書を要求する国や地域があることから、接種が必要になることがあります。

一種類のワクチンでも数回（2～3回）接種する必要があるものもあります。海外への旅行を思い立ったら早めに予防接種を検討しましょう。

海外の国別流行状況やワクチン接種情報については、厚生労働省検疫所のホームページをご覧ください。

URL：<http://www.forth.go.jp/>